

第3回書面開催におけるご意見及び対応について

		該当箇所	意見内容	事務局の対応	備考
1	足利委員	<資料2> 意見募集の結果 番号3	こども食堂を設置する小学校区の割合の目標値 100%を現実的にするために、下線部を追加すればどうか。 “地域の多様な主体が参画する「こども食堂」の普及を目指し、 <u>市町村域での連携体制構築の推進とともに、こども食堂の開設、運営を支援”</u> ”	具体的な方法等の詳細な記載は、計画書本文中（主な取組例）では省略しています。資料2の県の考え方に記載した内容も含めて、今後の取組の中で進捗管理していきます。	
2	上地委員	<資料2> 意見募集の結果 番号2	ご意見にあった「人と比較して食べる速度が速い人の割合」は、主観的であるため、客観的な指標（咀嚼力判定ガムを用いた数値等）を追加してもよいのではないかと。	速食いの人に肥満の人が多く、特に、働き盛り世代に速食いの人が多い傾向にあることから、この世代を対象に取組を進めたいと考えています。今回、指標としている「人と比較して食べる速度が速い人の割合」の目標値については、令和5年なら健康長寿基礎調査の結果により設定することになっていますが、県民全体ではなく、取組の対象となる働き盛り世代（性・年齢別）において指標設定していきたいと考えていますので、次回以降の奈良県食育推進会議において、改めてご審議をお願いします。	
3	富岡委員	<資料2> 意見募集の結果 番号2	肥満対策として、食べる速度が速い人の割合を減らすことは重要。今回の指標は、人と比較した速度としているため、県民全体の食べる速度が遅くなった場合では人と比較した速度は変化しない可能性がある。代替案として「人と比較して食べる速度が速い人の割合の格差を縮小する。」(速食いと肥満の対策が必要となる働き盛り世代の速食いの人を割合を減らすことを目標にする場合)や、噛む回数や食べる順番（野菜から先に食べるか、ベジファーストの実践）も良いかと思えます。		
4	上地委員	<資料2> 意見募集の結果 番号4	肥満とやせの割合はすべての年齢のデータがあれば、取り組む対象やアプローチ方法が明確になるので、今後、17歳までのデータが揃う学校保健統計等の活用を検討してはどうか。	若い世代に対する取組の推進は、計画書P23に示すとおり、第4期計画において新たに施策展開を実施していきます。評価指標は2項目を設定しているところですが、対象となる年代への具体的な取組等、今後、奈良県食育推進会議においてもご審議いただき、必要に応じて関連するデータを活用しながら、進捗管理していきたいと考えています。	
5	前之園委員	<資料1> 計画書本文	「やさしおベジ増しプロジェクト」の「やさしお」について、同名の商品があるので混同するのではないかと。	県では「やさしおベジ増し」を表記して使用しています。「やさしお」や「ベジ増し」だけを使用することはありません。県民の皆さまにも「やさしおベジ増し」の言葉を周知浸透していきます。	